

# 『生涯スポーツ学部研究紀要』を発刊するにあたって

生涯スポーツ学部長 小田嶋 政 子

生涯スポーツ学部は、それまでの人間福祉学部、生涯学習システム学部に続く、北翔大学の3つめの学部として平成21年4月に新設されました。

現代社会において、スポーツは一部の競技者やスポーツ指向者に留まらず、疾病予防、体力の向上、精神的な充実や楽しさ、ストレスの発散、他者との連帯感など、その存在は多様な役割が求められております。

本年2月にバンクーバーオリンピックが開催され、北翔大学スキー部の女子学生がフリースタイルスキーモーグル競技に初出場し、8位入賞を果すことができました。本学ではパブリック・ビューイングを催し、学生や教職員、地域子ども達に住民の方々も加わって無我夢中で応援し、感動を共有することができました。このようなスポーツを楽しむ機会は、円滑な人間関係をも育みます。人々が生涯にわたってスポーツに関わることのできる「生涯スポーツ社会」の構築はこれからの社会における重要な課題であり、そこで活躍できる人材の育成が求められています。

このような背景のもと、「生涯スポーツ学部」は、平成12年に創設された生涯学習システム学部健康プランニング学科を発展的に改組して、21世紀の生涯スポーツ社会の構築に寄与できる人材の育成を目指して開設されました。

前身の健康プランニング学科においても、健康をキーワードに運動・栄養（生活）・休養の3つの弧を中心とし、体育学、教育学、社会学、心理学、生理学、医学、バイオメカニクス、栄養学などを包括して、研究活動が継続されてきました。生涯スポーツ学部もその延長線上に開花しました。

本学部の教育研究の下に、学問研究の場を広げることができましたことは望外の喜びです。北海道に開花した生涯スポーツの研究が、北海道に限らず、それぞれのスポーツの各分野で模索する研究者やアスリートの指標となり、また地域社会で生活に根ざして活躍する人びとの示唆となる役割を果たすことができることを願うものです。

本研究紀要が、その学部所属教員を始め、共同研究者の学問研究を問う場として発展することを期待するとともに、多くの研究諸氏にはさらに生涯スポーツの専門誌としてお育ていただくことをお願いし、発刊の言葉と致します。